



APP

共催

SEAN



<報告&グループディスカッション>

ポルノ被害とヘイトスピーチ被害 ～構造的類似性を考える～

報告者 森田 成也

(APP研メンバー・国学院大学非常勤講師)

日時 2016年3月27日(日) 午後6:30~8:45

会場 ドーンセンター(大阪府立男女共同参画・青少年センター) 4階 中会議室1

〒540-0008 大阪市中央区大手前1丁目3番49号

参加費 500円



APP では、ポルノなどによって生み出されるさまざまな被害を「ポルノ被害」とし、これまで被害防止と悪質な暴力ポルノの規制を訴えてきました。

一方、近年、韓国や在日コリアン等をターゲットにした悪質な人種差別発言、すなわちヘイトスピーチが大きな社会問題になっています。諸外国の多くではすでに刑事罰の対象とされていますが、日本では「表現の自由」の名のもと法規制に反対する憲法学者などが今なお圧倒的多数派です。

ヘイトスピーチによる被害とポルノ被害は、一見、何の関係もないようにみえます。しかし、不平等な地位に置かれている特定集団をターゲットにした、暴力的攻撃としての「表現」という共通点があり、共に「表現の自由」の名のもとで擁護されているのではないのでしょうか。

今回、10代のポルノ被害の相談事業に取組み始めたSEANと、これまでも「ポルノ被害」について検証してきたAPPの共催で、それぞれの被害にみえる「構造的類似性」に着目し、憲法によって保障されているはずの人権侵害ではないのか、「規制」はどのように正当化するのか、また両者の違いがどの点にあるのかなど、参加者のみなさんといっしょに考えます。

たくさんの方の参加をお待ちしています。

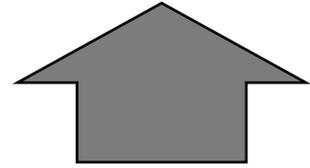
* 問合せ先は裏面にあります

FAX

072-669-7411

Email

station@npo-sean.org



申込み書

講座名	2016.3.27 「ポルノ被害とヘイトスピーチ被害」
ふりがな 名前	
連絡先	住所 〒 TEL (FAX 有 ・ 無) E-mail
申込み動機	
所属	

■こちらからは特に受諾の連絡はいたしません。当日会場にお越しください。

■申込みにあたりお預かりする個人情報は、運営上の目的以外で使用することはありません。

報告者 森田成也 プロフィール

国学院大学非常勤講師 ・ポルノ・買春問題研究会(APP研)メンバー

キャサリン・マッキノン著『女の生、男の法』上下(岩波書店)など翻訳多数。

◇ APP 研／ポルノ・買春問題研究会

『女犯』シリーズなどの暴力ポルノの実態を解明しその問題性を広く訴えていこうと、1999 年末に数名の男女によって結成。研究や調査の結果を掲載した『論文・資料集』を随時発行。

◇ NPO 法人 SEAN／シーン

1997 年、保育サポートグループとして結成。「ジェンダーと暴力」をテーマとした人権教育出前授業や街かどデイハウスなどの高齢者の居場所を開所。2015 年より「10 代のポルノ被害」の相談事業に着手している。

<お問合せ先>

NPO 法人 SEAN

〒569 - 0071 大阪府高槻市城北町 1 丁目 1 番 14 号 太田第二ビル 3F

TEL/FAX 072-669-7411 <http://www.npo-sean.org> station@npo-sean.org